

令和7年度

安曇野市水道事業会計
安曇野市下水道事業会計
事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

目 次

令和7年度 安曇野市水道事業会計 当初予算

原水及び浄水費（上水道課 維持係）	4
配水及び給水費（上水道課 管理係、維持係）	5
業務費（経営管理課 庶務担当）	6
総係費（経営管理課 庶務担当）	7
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	8
資産減耗費（経営管理課 庶務担当、上水道課 管理係、工務係）	9
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	10
消費税及び地方消費税（経営管理課 庶務担当）	11
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	12
その他特別損失（経営管理課 庶務担当）	13
配水設備工事費（上水道課 工務係、維持係）	14
量水器費（上水道課 管理係）	15
固定資産購入費（上水道課 維持係）	16
改良費（上水道課 管理係）	17
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	18

令和7年度 安曇野市下水道事業会計 当初予算

管きょ費（下水道課 下水道担当）	20
処理場費（下水道課 下水道担当）	21
浄化槽費（下水道課 下水道担当）	22
農業集落排水費（下水道課 下水道担当）	23
受託工事費（下水道課 下水道担当）	24
業務費（経営管理課 庶務担当）	25
総係費（経営管理課 庶務担当）	26
減価償却費（経営管理課 庶務担当）	27
資産減耗費（経営管理課 庶務担当、下水道課 下水道担当）	28
支払利息及び企業債取扱諸費（経営管理課 庶務担当）	29
消費税及び地方消費税（経営管理課 庶務担当）	30
過年度損益修正損（経営管理課 庶務担当）	31
その他特別損失（経営管理課 庶務担当）	32
管きょ工事費（下水道課 下水道担当）	33
農業集落排水工事（下水道課 下水道担当）	34
流域下水道事業費（下水道課 下水道担当）	35
排水設備工事費（下水道課 下水道担当）	36
企業債償還金（経営管理課 庶務担当）	37

安曇野市水道事業会計

予算書ページ	31
--------	----

課・係等	上水道課 維持係
------	----------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	原水及び浄水費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	425,559					425,559	
前年度	425,318					425,318	
増減額	241	0	0	0	0	241	
特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
・深井戸からくみ上げた地下水に法令に基づき滅菌剤を添加し、配水池に貯水します。
・定期的に水質検査を実施して水質の管理に努めるとともに検査結果を市のホームページに公開します。
・水道水の安定供給が出来るよう中央監視システムのデータを基に水源施設の運転管理や施設維持管理に努めます。
【効果】
・水質検査結果の公開により、水質の安全性や検査内容の確認ができ、利用者が安心して使用できます。
・維持管理記録や運転データを基に、水源施設の運転・維持管理を適切に行います。

【当該年度の事業概要(手法)】
・水源施設におけるポンプ設備の経年劣化部品の交換等計画的な改修・診断を行い、取水の安定性を高めます。
・水質検査は、原水・浄水の全項目検査を実施し、水質監視に努めます。
・配水池内の清掃を計画的に行い、安心して快適な水道水の供給に努めます。

【一般財源増加理由】 原水滅菌用薬品費の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	備消耗品費	66	水源地管理用品				
10	光熱水費	48	下水道使用料				
13	委託料	26,822	水質検査業務等、水道施設除草業務、配水池不断水清掃点検業務、電気料ESP業務サービス等				
14	手数料	115	ハチの巣除去、開閉器操作				
16	修繕費	5,500	施設設備修繕				
31	動力費	386,694	水道施設電気料				
32	薬品費	6,314	次亜塩素酸ナトリウム				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	水質検査業務	水道法の規定に基づき水質検査計画を策定し実施します。 安全で安心な飲料水を供給することができます。	13	委託料	15,191	
					計	15,191	
					計	0	

予算書ページ	31
--------	----

		課・係等	上水道課 管理係 維持係		予算書ページ		31
予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野	
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち	
					施策	上下水道の安定経営	
	目	2	配水及び給水費				

単位: 千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	329,709				14,037	315,672
前年度	268,898				10,840	258,058
増減額	60,811	0	0	0	3,197	57,614

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

- 【目的・効果】
- 【目的】
- ・常時監視システムにより配水・送水施設を維持管理し、各家庭への安定的な水道水の供給に取り組めます。
 - ・漏水調査を実施し、漏水損失の減少を図ります。
 - ・各種調査やデータ収集により施設の状況把握に努めます。
- 【効果】
- ・漏水による流失を防ぐことにより、安定した水道水の供給が可能となり、動力費等の節減が図れます。

- 【当該年度の事業概要(手法)】
- ・穂高・明科地域の漏水現況分析を行います。
 - ・地図情報システムのデータ更新を行います。
 - ・検漏メーターの計画的な交換を行います。
 - ・配水施設の的確な維持管理を行います。
 - ・配水管等の漏水修理を迅速かつ的確に行います。

【一般財源増加理由】 漏水現況分析、カメラ調査・洗管業務、計装設備点検業務の実施

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
6	旅費	854	職員研修・出張旅費等	15	賃借料	1,121	水道施設用地等賃借料、積算システム利用料等
8	備消耗品費	1,533	配水・給水関連消耗品、水道水ペットボトル、公用車タイヤ等	16	修繕費	79,990	検定満期量水器修繕、給配水管修理、車検等整備代等
9	燃料費	1,005	公用車燃料代	19	保険料	648	公用車自動車共済、自賠責保険料、建物共済
11	印刷製本費	268	メーター交換連絡票印刷、給水台帳他印刷代	23	研修費	1,032	職員研修費
12	通信運搬費	11,013	専用回線、施設電話料等	25	負担金	6,846	退職手当負担金等
13	委託料	104,842	漏水分析業務、上水道台帳GIS更新業務等、検定満期量水器取替業務、緊急修理待機業務等、カメラ調査・洗管業務、計装設備点検業務	35	工事請負費	15,290	量水器・給水管等移設工事、洗管設備設置工事 消火栓等移設工事
14	手数料	445	保菌検査、公用車法定点検手数料等	その他		104,822	給料、手当、法定福利費、報酬、被服費、公課費、報償費、材料費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	漏水調査業務	穂高・明科地域施設の現況調査に基づき、漏水分析を実施します。漏水箇所の早期発見修理により、水道水の流失を防ぎ、有収率の向上を図ります。	13	委託料	13,200	
					計	13,200	
2							
					計	0	

予算書ページ	33
--------	----

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	3	業務費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	112,873					112,873	
前年度	0					0	
増減額	112,873	0	0	0	0	112,873	
特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
・料金センターとの連携により催告及び徴収方法を指示し、徴収率を上げます。
・移転未収や納付について連絡のない滞納者へは訪問徴収や法的措置を進め、滞納額の縮減を図ります。
【効果】
・利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により上水道事業経営を安定的に維持します。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】新規目追加のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	備消耗品費	73	閉開栓器具	25	負担金	782	堀金支所管理経費
11	印刷製本費	4,742	料金関係用紙等印刷				
12	通信運搬費	32	コンビニ収納通信電話料				
13	委託料	96,316	上下水道料金徴収業務				
14	手数料	6,693	口座振替手数料、コンビニ・スマホ収納手数料、窓口取扱手数料等				
15	賃借料	4,220	上下水道料金システム使用料、堀金支所建物等使用料、ハンディターミナルリース料				
20	公課費	15	裁判所申立手数料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	収納率向上対策	料金センターとの連携により催告及び徴収方法を指示し、徴収率を上げていく。移転未収や納付について連絡のない滞納者へは訪問徴収や法的措置を進め、滞納額の縮減を図ります。利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により上水道事業経営を安定的に維持します。	13	委託料	96,316	
				20	公課費	15	
					計	96,331	
2							
					計	0	

課・係等

経営管理課 庶務担当

予算書ページ

35

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	総係費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	71,438					71,438
前年度	175,344					175,344
増減額	△ 103,906	0	0	0	0	△ 103,906

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・水道事業経営全般にかかる一般管理費です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	給料	25,047	職員給料		12	通信運搬費	9,025	後納郵便料等、直通電話料	
2	手当	10,518	職員手当		13	委託料	647	企業会計システム保守等	
5	報酬	175	上下水道事業経営審議会委員報酬		14	手数料	441	振込手数料等	
6	旅費	163	職員研修・出張旅費		15	賃借料	3,778	本庁舎建物等使用料、企業会計システム使用料等	
7	被服費	37	作業着等		23	研修費	200	職員研修費	
8	備消耗品費	954	一般事務用品、コピー用紙、新聞代等		25	負担金	7,266	本庁舎管理経費、公営企業会計運用支援ツール共同調達負担金、協会会員費、退職手当負担金等	
11	印刷製本費	44	経理関係用紙等印刷			その他	13,143	法定福利費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額、貸倒引当金繰入額	

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算書ページ

35

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	減価償却費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,045,315				257,022	788,293
前年度	1,054,114				283,785	770,329
増減額	△ 8,799	0	0	0	△ 26,763	17,964

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	257,022							
										257,022

【目的・効果】
・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するものです。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化しています。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】		減価償却見込資産の増							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
51	有形固定資産減価償却費	1,045,315	建物、構築物、機械及び装置、車輛及び運搬具、工具・器具・備品						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

課・係等
経営管理課 庶務担当
上水道課 管理係・工務係

予算書ページ

35

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	資産減耗費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	17,065					17,065
前年度	44,805					44,805
増減額	△ 27,740	0	0	0	0	△ 27,740

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、帳簿価額を除くことを除却といいます。除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上します。
・建物など取り壊しに要する費用は固定資産除却費として計上します。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
53	固定資産除却損	14,755	構築物、工具・器具・備品除却損				
54	固定資産除却費	2,310	消火栓撤去工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等

経営管理課 庶務担当

予算書ページ

35

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	58,698					58,698	
前年度	68,462					68,462	
増減額	△ 9,764	0	0	0	0	△ 9,764	
特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れた企業債の支払利息です。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
58	企業債利息	58,698	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	35
--------	----

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	消費税及び地方消費税		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1,000					1,000	
前年度	1,000					1,000	
増減額	0	0	0	0	0	0	
特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
・水道事業に係る消費税及び地方消費税です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
64	消費税及び地方消費税	1,000	水道事業消費税及び地方消費税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等

経営管理課 庶務担当

予算書ページ

35

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	過年度損益修正損		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1,501					1,501	
前年度	2,001					2,001	
増減額	△ 500	0	0	0	0	△ 500	
特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
							0

【目的・効果】

・漏水修理減免申請により、過年度水道料金調定額に調定更正が発生した場合に費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
68	過年度損益修正損	1,501	過年度水道料金修正損(調定更正発生分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算書ページ

35

予算	款	1	水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	4	その他特別損失		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1						1
前年度	1						1
増減額	0	0	0	0	0		0

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・不納欠損額が貸倒引当金取崩額を超過した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
70	その他特別損失	1	不納欠損(貸倒引当金取崩額超過分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	上水道課 工務係 維持係
------	-----------------

予算書ページ	39
--------	----

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	配水設備工事費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1,441,966			150,000	87,970	1,203,996	
前年度	1,462,732			150,000	32,640	1,280,092	
増減額	△ 20,766	0	0	0	55,330	△ 76,096	
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	企業債	150,000				
	1	工事負担金	87,970				
							237,970

【目的・効果】
【目的】
・拠点配水池に接続する導・送水管及び、重要給水施設への配水管の更新を図ります。
・老朽化した水道施設の更新・改修・耐震化等を計画的に推進し、安心で安全な水道水の供給を図ります。
【効果】
・管路を耐震管にすることにより、災害時に重要給水施設へ確実に水道水の供給が図れます。
・漏水等が解消され有収率の改善が見込めます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・主要管路整備事業：(岩原低区配水系)DIPφ150～200 L=393m 配水池場内整備(土工・建築) 一式
・穂高豊里整備事業：(穂高)DIPφ200 L=706m 送水ポンプ設備 一式
・既存管路更新事業：(豊科)HPPE φ75 2路線 L= 945m (穂高)DIPφ150・HPPEφ50～75 5路線 L= 1,838m 他
・非常用発電機設置事業：(上原配水池)非常用発電機設置 一式 他
・既存施設更新事業：岩原低区配水池場内整備(機械・電気) 一式 他

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	70,961	主要管路整備工事監理業務、穂高豊里整備事業工事監理業務、既存管路(老朽管)更新工事設計業務、非常用発電機設置工事設計監理業務 他				
14	手数料	65	建築確認申請手数料				
25	負担金	50,600	舗装復旧負担金等				
30	路面復旧費	55,110	路面復旧工事				
35	工事請負費	1,265,230	主要管路整備工事、既存管路(老朽管)更新工事、穂高豊里整備事業工事、非常用発電機設置工事、既存施設更新工事、負担金工事 他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	主要管路整備事業	拠点配水池に接続する導送水管や重要給水施設への配水管を耐震化することにより、確実に水を供給することができます。	13	委託料	1,100	
				35	工事請負費	254,543	
					計	255,643	
2	ハード	○ 非常用発電機設置事業	拠点配水池へ非常用発電設備を設置し、災害時や停電時における大規模な断・減水を引き起こさないことで、災害に強い水道システムの構築が図れます。	13	委託料	11,154	
				35	工事請負費	108,680	
					計	119,834	

予算書ページ	39
--------	----

課・係等	上水道課 管理係
------	----------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	量水器費		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1,170					1,170	
前年度	1,101					1,101	
増減額	69	0	0	0	0	69	

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・新たに水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用です。

【当該年度の事業概要(手法)】
・ 340個の量水器を購入します。
【内訳】
・ φ13 330個 （豊科80個、穂高140個、三郷80個、堀金20個、明科10個）
・ φ20 10個 （豊科5個、穂高5個）

【一般財源増加理由】		新設メーター購入費の増							
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容
34	量水器費	1,170	新設メーター購入費						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

予算書ページ

39

課・係等

上水道課 維持係

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	3	固定資産購入費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	548					548	
前年度	0					0	
増減額	548	0	0	0	0	548	

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

・マーカローケーターの新規購入費用です。

【当該年度の事業概要(手法)】

・水道管の埋設箇所を探索するための機械を購入します。

【一般財源増加理由】 固定資産の購入が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
49	工具・器具・備品	548	マーカローケーター購入				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ

39

課・係等

上水道課 管理係

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	4	改良費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	295					295	
前年度	295					295	
増減額	0	0	0	0	0	0	

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・新たにφ75mm以上の水道メーターを設置する利用者の量水器購入費用です。

【当該年度の事業概要(手法)】

・φ75mm以上の量水器を2個購入します。

【内訳】

- ・φ 75 1個 (遠隔フランジ式 豊科1個)
- ・φ 100 1個 (遠隔フランジ式 豊科1個)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
77	工具機械器具改良費	295	大口径新設メータ購入費(φ75mm以上)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算書ページ

39

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	企業債償還金		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	企業債償還金		施策	上下水道の安定経営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	554,675					554,675
前年度	568,685					568,685
増減額	△ 14,010	0	0	0	0	△ 14,010

特定財源の内訳	款	節名称	金額	款	節名称	金額	款	節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れた企業債の償還金です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
61	企業債元金償還金	554,675	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

安曇野市下水道事業会計

課・係等

下水道課 下水道担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	管きよ費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	1,217,448	0	0	0	0	1,217,448
前年度	1,175,726	9,845	0	0	0	1,165,881
増減額	41,722	0	0	0	0	51,567

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・下水道管路施設の維持管理を行い、衛生的で快適な生活環境を提供するため。

【効果】

・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・下水道管路施設の維持管理を委託します。(明科浄化センター及び農業集落排水施設を含めた総合一括管理委託)
- ・犀川安曇野流域下水道に係る維持管理負担金を支出します。
- ・前年度の管路等新設箇所のデータを下水道台帳に登録するための業務を委託します。
- ・単独公共下水道明科処理区を犀川安曇野流域下水道安曇野処理区へ編入することから、下水道事業計画を一本化するための業務を委託します。
- ・下水道施設の維持補修を行います。

【一般財源増加理由】 下水道事業計画変更業務に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
6	旅費	329	職員研修・出張旅費、会計年度任用職員通勤費	15	賃借料	446	積算システム利用料、高速道路使用料、下水道用地賃借料
8	備消耗品費	201	積算関係図書、一般事務用品	16	修繕費	17,719	管路施設修繕、車検等整備代
9	燃料費	749	公用車燃料代	19	保険料	118	自動車損害共済、自賠責保険料
11	印刷製本費	322	マンホールカード印刷、排水設備確認申請書印刷等	20	公課費	23	自動車重量税
12	通信運搬費	222	直通電話及び携帯電話使用料	23	研修費	511	職員研修費
13	委託料	145,781	下水道施設等維持管理業務(管きよ)、下水道施設広域監視業務、下水道台帳データ更新業務、安曇野市下水道事業計画変更業務等	25	負担金	993,857	流域下水道維持管理負担金等
14	手数料	215	公用車車検・法定点検手数料	その他		56,955	給料、手当、報酬、法定福利費、報酬、被服費、材料費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	下水道施設等維持管理事業	公共下水道の管路・マンホールポンプ場の維持管理業務を専門知識を有する者へ委託し、管路施設の機能を確保します。	13	委託料	110,402	
					計	110,402	
2	ソフト	流域下水道維持管理負担金事務	流域下水道施設の維持管理負担金を支出します。	25	負担金	989,934	
					計	989,934	

予算書ページ	65
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	処理場費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	92,660	0	0	0	0		92,660
前年度	54,168	0	0	0	0		54,168
増減額	38,492	0	0	0	0		38,492

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・明科浄化センターの維持管理を行い、環境保護や公共衛生の確保、設備の効率的運用を図るため。
【効果】
・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・明科浄化センターの維持管理を委託します。(下水道管路施設及び農業集落排水施設を含めた総合一括管理委託)
・明科浄化センターの汚泥運搬処理を委託します。
・下水道施設統廃合事業により、今後、汚水の一時的貯留施設として利用する明科浄化センターの耐震診断業務を委託します。

【一般財源増加理由】 明科浄化センター耐震診断業務に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	92,532	下水道施設等維持管理業務(処理場)、脱水汚泥運搬処分業務、浄化センター耐震診断業務等				
19	保険料	128	明科浄化センター建物共済				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	下水道施設維持管理事業	明科浄化センターの維持管理業務を専門知識を有する者へ委託することにより、汚水処理機能を確保します。	13	委託料	49,250	
					計	49,250	
2							
					計	0	

予算書ページ	65
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	3	浄化槽費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	2,169	0	0	0	0	2,169	
前年度	2,118	0	0	0	0	2,118	
増減額	51	0	0	0	0	51	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・大口沢地区の特定地域生活排水処理施設(市町村設置型合併処理浄化槽)の維持管理を行い、環境保護や公共衛生の確保、設備の効率的運用を図るため。
【効果】
・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・施設の保守点検を委託します。
・法定検査及び汚泥の汲み取りを行います。

【一般財源増加理由】 汚泥汲み取り箇所数の増加に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	457	合併浄化槽保守点検業務				
14	手数料	761	汚泥汲み取り料、合併浄化槽法定検査手数料等				
16	修繕費	536	処理槽等修繕				
25	負担金	336	大口沢浄化槽組合負担金				
32	薬品費	79	浄化槽放流水滅菌剤				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算書ページ	65
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	4	農業集落排水費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源				
		国支出金	県支出金	企業債	その他					
本年度	59,492	0	0	0	0	59,492				
前年度	59,538	0	0	0	0	59,538				
増減額	△ 46	0	0	0	0	△ 46				
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

- 【目的・効果】
- 【目的】
- ・農業集落排水処理施設の維持管理を行い、環境保護や公共衛生の確保、設備の効率的運用を図るため。
- 【効果】
- ・生活環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図ることができます。

- 【当該年度の事業概要(手法)】
- ・農業集落排水の浄化センター及び管路施設の維持管理を委託します。(公共下水道施設を含めた総合一括管理委託)
 - ・4箇所(押野、川西、中村、生野)の浄化センターから発生する汚泥の引抜運搬処理を委託します。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	58,284	下水道施設等維持管理業務(農集)、下水道施設広域監視業務、汚泥引抜運搬業務				
16	修繕費	1,125	施設修繕				
19	保険料	83	浄化センター建物共済				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	下水道施設維持管理事業	農業集落排水施設の維持管理業務を専門知識を有する業者へ委託をすることにより、適切な汚水流下能力と汚水処理機能を確保します。	13	委託料	44,770	
					計	44,770	
2							
					計	0	

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	5	受託工事費		施策	上下水道の安定経営		

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	24,057	0	0	0	24,057	0	0
前年度	26,466	0	0	0	26,466	0	0
増減額	△ 2,409	0	0	0	△ 2,409	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	受託工事収益	24,057							
										24,057

【目的・効果】
【目的】
・道路工事等公共事業の推進に寄与するため。
【効果】
・道路工事の支障となる下水道施設の移設を先行させることにより、公共事業が円滑に進められます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・道路工事の事業主体との協議により、支障となる管きょ・公共ます・マンホール等の移設、撤去、高さ調整等を行います。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
16	修繕費	24,057	下水道施設移転補償工事等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算書ページ

65

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	6	業務費		施策	上下水道の安定経営		

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	10,245	0	0	0	0	10,245	
前年度	0	0	0	0	0	0	
増減額	10,245	0	0	0	0	10,245	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・料金センターとの連携により催告及び徴収方法を指示し、徴収率を上げます。
・移転未収や納付について連絡のない滞納者へは訪問徴収や法的措置を進め、滞納額の縮減を図ります。
【効果】
・利用者負担の公平性を確保するとともに収益の確保により下水道事業経営を安定的に維持します。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】新規目追加のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	印刷製本費	2,269	料金関係用紙等印刷				
14	手数料	5,451	口座振替手数料、コンビニ・スマホ収納手数料、窓口取扱手数料等				
15	賃借料	845	受益者負担金システム使用料				
22	報償費	1,680	受益者負担金前納報奨金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算書ページ

65

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	7	総係費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	111,524	0	0	0	0	111,524	
前年度	129,979	0	0	0	0	129,979	
増減額	△ 18,455	0	0	0	0	△ 18,455	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・下水道事業経営全般にかかる一般管理費です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	給料	10,113	職員給料	14	手数料	196	振込手数料
2	手当	4,420	職員手当	15	賃借料	652	企業債システム使用料、本庁舎建物等使用料等
6	旅費	55	職員研修・出張旅費等	23	研修費	147	職員研修費
7	被服費	37	作業着等	25	負担金	85,008	本庁舎管理経費、公営企業会計運用支援ツール共同調達負担金、使用料徴収業務委託事務負担金等
8	備消耗品費	176	一般事務用品等	その他	6,221	法定福利費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額、貸倒引当金繰入額	
11	印刷製本費	44	経理関係用紙等印刷				
12	通信運搬費	4,455	後納郵便料、料金受取人払郵便料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等

経営管理課 庶務担当

予算書ページ

67

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	8	減価償却費		施策	上下水道の安定経営		

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1,863,336	0	0	0	766,011	1,097,325	
前年度	1,858,717	0	0	0	763,159	1,095,558	
増減額	4,619	0	0	0	2,852	1,767	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	長期前受金戻入	766,011							
										766,011

【目的・効果】
・減価償却費は、現金の支出を伴わない費用として、資産取得に要した経費を期間損益計算することにより各事業年度に配分し、費用化するものです。また、固定資産の取得に充てた工事負担金等は長期前受金として計上し、減価償却に伴って長期前受金戻入として収益化しています。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 減価償却見込資産の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
51	有形固定資産減価償却費	1,680,027	建物、構築物、機械及び装置、工具・器具・備品				
52	無形固定資産減価償却費	183,309	流域下水道施設利用権				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等

経営管理課 庶務担当
下水道課 下水道担当

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	営業費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	9	資産減耗費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	267	0	0	0	0	267	
前年度	1,606	0	0	0	0	1,606	
増減額	△ 1,339	0	0	0	0	△ 1,339	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

- ・固定資産が使用によって滅失し、又は機能的にその使用に耐えなくなったときに、その固定資産を廃棄し、帳簿価額を除くことを除却といいます。除却の際に減価償却として費用化されていない額を固定資産除却損として計上します。
- ・建物など取り壊しに要する費用は固定資産除却費として計上します。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
53	固定資産除却損	47	機械及び装置除却損				
54	固定資産除却費	220	構築物・公共ます撤去費用				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等	経営管理課 庶務担当
------	------------

予算書ページ	67
--------	----

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	330,103	0	0	0	0	330,103
前年度	362,383	0	0	0	0	362,383
増減額	△ 32,280	0	0	0	0	△ 32,280

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れた企業債及び資本費平準化債の支払利息です。
・一時借入金の支払利息です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
58	企業債利息	329,817	定期償還分				
59	借入金利息	286	一時借入分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算書ページ

67

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	消費税及び地方消費税		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	48,128	0	0	0	0	48,128	
前年度	42,075	0	0	0	0	42,075	
増減額	6,053	0	0	0	0	6,053	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・下水道事業に係る消費税及び地方消費税です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】 納付額増加見込みのため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
64	消費税及び地方消費税	48,128	下水道事業消費税及び地方消費税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算書ページ

67

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	過年度損益修正損		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	501	0	0	0	0	501
前年度	601	0	0	0	0	601
増減額	△ 100	0	0	0	0	△ 100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・水道の漏水修理減免申請により、過年度下水道使用料調定額に調定更正が発生した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
68	過年度損益修正損	501	過年度下水道使用料修正損(調定更生発生分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

課・係等

経営管理課 庶務担当

予算書ページ

67

予算	款	1	下水道事業費用	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	2	営業外費用		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	4	その他特別損失		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	1	0	0	0	0	1	
前年度	1	0	0	0	0	1	
増減額	0	0	0	0	0	0	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
・不納欠損額が貸倒引当金取崩額を超過した場合に、費用として処理するものです。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
70	その他特別損失	1	不納欠損(貸倒引当金取崩額超過分)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	71
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	1	管きょ工事費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	716,826	330,000	0	202,100	165,000	19,726	
前年度	555,621	255,255	0	164,400	118,500	17,466	
増減額	161,205	74,745	0	37,700	46,500	2,260	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債	202,100							
	1	国庫補助金	330,000							
	1	他会計出資金	165,000							
										697,100

【目的・効果】
【目的】
・下水道管路施設の整備により、衛生的で快適な生活環境を実現するため。
【効果】
・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図ることができます。
・汚水処理区域の広域化を進めることにより、施設の修繕費や改築更新費が縮減され、健全かつ効率的な事業運営が見込まれます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・下水道処理施設統廃合により、公共下水道明科処理区と農業集落排水生野地区の汚水を犀川安曇野流域下水道の幹線管路へ接続する工事を行います。

【一般財源増加理由】事業量増加に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	59,400	下水道施設統廃合事業現場技術業務(積算、監督)等				
35	工事請負費	648,406	下水道施設統廃合事業接続管路工事等				
37	補償費	9,020	下水道施設統廃合事業上水道補償				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード		下水道施設統廃合事業	下水道処理施設を段階的に統廃合し、汚水処理区域の広域化を図ります。	13	委託料	45,980
					35	工事請負費	645,480
					37	補償費	9,020
						計	700,480
						計	0

予算書ページ	71
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	2	農業集落排水工事費		施策	上下水道の安定経営		

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	3,300	0	0	3,200	0	100	
前年度	15,334	6,500	0	0	0	8,834	
増減額	△ 12,034	0	0	0	0	△ 8,734	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債	3,200							
										3,200

【目的・効果】
【目的】
・農業集落排水施設の整備により、衛生的で快適な生活環境を実現するため。
【効果】
・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図ることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・押野地区及び川西地区における既存ストックの長寿命化対策に係る計画概要書策定業務を委託します。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	3,300	押野地区及び川西地区の計画概要書作成業務				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
	事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1							
					計		0
2							
					計		0

予算書ページ	71
--------	----

課・係等	下水道課 下水道担当
------	------------

予 算	款	1	資本的支出	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
					施策	上下水道の安定経営
	目	3	流域下水道事業費		単位:千円	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	137,669	0	0	133,000	0	4,669
前年度	94,278	0	0	89,800	0	4,478
増減額	43,391	0	0	43,200	0	191

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	下水道事業債	133,000							
										133,000

【目的・効果】
・犀川安曇野流域下水道事業に係る建設改良費の一部を建設負担金として支出します。
（流域下水道事業費から国費を除く地方負担額のうち、事業主体である長野県が50%、地元自治体である安曇野市と松本市が残り50%を負担します。）

【当該年度の事業概要(手法)】
令和7年度流域下水道事業(安曇野市負担額)
交付金事業
管廊耐震化工事 32,724 千円
水処理棟1・2系耐震工事 13,635 千円
汚泥濃縮棟耐震工事 22,725 千円
水処理棟1・2系機械更新工事 13,635 千円
ストックマネジメント計画 13,106 千円
消化タンク増設詳細設計 4,545 千円
消化ガス発電増設詳細設計 2,135 千円

交付金事務費 30,619 千円
県単事業(事業計画修正業務等) 4,545 千円
計 137,669 千円

【一般財源増加理由】 事業量増加に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	
25	負担金	137,669	犀川安曇野流域下水道事業建設負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等
下水道課 下水道担当

予算書ページ
71

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野		
	項	1	建設改良費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち		
	目	4	排水設備工事費		施策	上下水道の安定経営		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	企業債	その他		
本年度	781	0	0	0	0	781	
前年度	704	0	0	0	0	704	
増減額	77	0	0	0	0	77	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
・井水メーターを設置し、井戸利用者の汚水排除量を計量するため。
【効果】
・井戸利用者の汚水排除量を的確に把握することで、下水道使用料の算定に反映させることができます。

【当該年度の事業概要(手法)】
・井水メーター設置工事を行います。

【一般財源増加理由】 単価上昇に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
35	工事請負費	781	井水メーター設置工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

課・係等 経営管理課 庶務担当

予算書ページ

71

予算	款	1	資本的支出	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	企業債償還金		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	企業債償還金		施策	上下水道の安定経営

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	企業債	その他	
本年度	2,518,097	0	0	1,160,700	0	1,357,397
前年度	2,502,951	0	0	655,000	0	1,847,951
増減額	15,146	0	0	505,700	0	△ 490,554

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	資本費平準化債	1,160,700							
										1,160,700

【目的・効果】
・建設改良費に充てるため借入れた企業債及び資本費平準化債の償還金です。

【当該年度の事業概要(手法)】

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
61	企業債元金償還金	2,518,097	定期償還分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	